

(仮訳)

2020年5月7日

## 新型コロナウイルス感染症（Covid-19）による危機に際し、保険監督者国際機構（IAIS）は、金融安定と保険契約者保護に関する世界的な協調を促進する

Covid-19 の世界的な流行は、人的・経済的に甚大な影響を及ぼす全世界的な公衆衛生上の緊急事態を引き起こした。保険は、感染症の世界的流行によって増大する不確実性に対する保護を提供し、現下の困難な局面における必要不可欠なサービスとなっている。

保険会社がこうした役割を果たし、また、経済の回復に貢献するためには、同セクターの安定が不可欠である。これを踏まえ、IAIS は、Covid-19 が全世界の保険セクターに対して与える影響を評価するため、状況の進展を注視するとともに、他の基準設定主体や金融安定理事会（FSB）と積極的に協調してきた。また、IAIS は、Covid-19 への対応に関する国際的な協力と協調を確保するために FSB が最近公表した原則を支持することとしている。<sup>1</sup>さらに、IAIS は、Covid-19 の影響に対する監督上の対応について、広範な加盟当局間での情報共有と議論を推進してきた。

Covid-19 への監督上の対応に関する IAIS における議論では、現下の困難な局面における効果的な保険契約者保護と公正な顧客の取扱いの重要性が強調された。IAIS は、保険監督当局と保険会社が、保険契約者を支援するために積極的に取った様々な措置を歓迎する。こうした措置のなかには、非対面型の販売やサービスの提供、保険料支払いに関する柔軟な対応、リスクエクスポージャーが大きく低下した保険の保険料の割戻しや割引、生活必須職従事者に対して任意で補償範囲を拡大したり、保険料を減額したりすることが挙げられる。

感染症流行リスクが保険契約上含まれている場合は、保険会社が迅速かつ効率的に保険金請求に対して支払いを行うことが重要である。Covid-19 により生じた損失の補償範囲に関し、効率的な保険金請求の処理と保険契約者との明確なコミュニケーションが行われることが、保険セクターに対する信任と信頼を深め、長期的な経済回復の取組みに貢献することにつながるはずである。

同時に、IAIS は、事業中断などの既保険契約において明確に除外されている Covid-19 に関連する損失を、遡及的に保険会社に補償させようとする取組みについて注意喚起を行う。このような場合に損失に対して請求が行われる保険金の費用は、保険契約者が支払った保険料には織り込まれていない。保険会社にこうした保険金請求に対して補償させることは、保険会社の支払い能力に重大なリスクを生じさせ、その他の保険金請求に対する保険会社の支払い能力を著しく損なう可能性がある。こうした取組みは、究極的には保険契約者保護と金融安定性を脅かし、さらに Covid-19 の金融・経済に対する影響を悪化させる可能性がある。

関連して、今回の世界的な感染症の拡大は、保険セクターのみによって合理的に提供可能な補償の種類に限界があることを際立たせている。そのような状況下では、実行可能な保険を設計するために必要なリスクのプール化と分散が困難である。このため、IAIS は、これらの

---

<sup>1</sup> <https://www.fsb.org/2020/04/fsb-publishes-report-on-international-cooperation-to-address-the-financial-stability-implications-of-covid-19/>

種類のリスクから事業者と個人を保護するための潜在的な解決策を模索する努力を奨励するとともに、国際的なレベルでこうした議論を促進することを支援する用意がある。